

講義テーマ

「仕事の意義、楽しさ、厳しさ」を考える

- 一生勉強、一生青春 -

社団法人経済同友会、幹事
林 明 夫

1. 仕事の意義(仕事とは何か、仕事の意味)

(1)すべての仕事には、「顧客(こきゃく)」つまり「お客様」が存在する。

仕事とは、製品やサービスをひいきにしてくれるお客様に買っていただくこと。(無料の場合もあるが...)(そこからしか買えない場合もあるが...)

お客様にとって「製品やサービス」とは何か。なぜ「製品やサービス」を購入(こうにゅう)するのか。それは、自分の「問題解決」に役立てたいから。

つまり、仕事としてお客様に提供する「製品やサービス」は、お客様の「問題解決」を目的とする。

製品やサービスのお客様にとっての意味とは、お客様の問題解決である。

お客様にとって問題解決にならなければ、仕事をしたことにならない。お客様の問題を解決するということは、お客様のお役に立つことである。お客様にとってお役に立たなければ、仕事をしたことにならない。お客様のお役に立つという結果を出さなければ、仕事ではない。

お客様のお役に立つということは、世の中のお役に立つということ。仕事を通して世の中のお役に立つことができる。

お客様のお役に立てば、どんな仕事をしてもしよいか、どのようなやり方で仕事をしてもしよいか。

(ア)「ルールの中でのプレイ」が、仕事では求められる。

(イ)自分がされたいやだなあと思うことはしない。

(ウ)法律に違反することはしない。

(エ)「自律的に活動する能力」を身に付けること。

- * ・何がルールかを知ることが大事。
- ・相手の感情を思いはかることが大事。
- ・法律とは何か、何が罰せられることなのか、違法な行為なのかを知ること(学ぶこと)が大事。
- ・自分自身をコントロールすることが大事。

(2)働く人にとっての仕事の意義(Decent Work ちゃんとした仕事とは)

生活するだけの収入が得られる。

自己実現できる。

*なぜ「生活できるだけの収入が得られる」かといえば、「顧客の問題解決になるから。」

*なぜ「自己実現」できるのかといえば、「すべての仕事には、顧客の問題解決を通して社会のお役に立つという『社会的使命(mission ミッション)』があり、仕事を通して社会的使命を果たすことができるから。」

(3)このような意味での「仕事」をするには、「能力強化(Empowerment エンパワーメント)」が求められる。

「学校での教育」は、世の中に出てすべて役に立つ。

「教科の勉強」は、すべて役に立つ。

(ア)読み、書き、計算

(イ)国語、数学、理科、社会、英語、コンピュータ

(ウ)保健体育、技術家庭、美術、音楽

「教科外」の学校での活動も、すべて世の中に出て役に立つ。

(ア)遅刻、欠席、早退のないこと

(イ)学校行事、学級会、生徒会、部活動、当番

(ウ)一番役に立つのは、掃除(そうじ)

辞書の引き方 } を身に付けよう
ノートの取り方 }

「音読練習」「書き取り練習」「計算練習」を毎日しよう。

2. 仕事の楽しさ - 社会に参加し、社会の役に立つ喜び -

(1)お客様の「問題解決」を通して「世の中のお役に立つ」ことの喜び。

(2)学び続けることで、よりよい仕事ができる。学び続けることの喜び。

*「教育ある人」とは、「勉強し続ける人」である。(ドラッカー先生)

(3)仕事を通して、いろいろなことを知ることができる。世の中のことを知ることができる。

*「世の中の動き」をよく読み込まないと、いくら「製品やサービス」を提供しても誰も買ってくれない。世の中が変化すれば、お客様の問題もどんどん変化する。その変化に応じて「製品やサービス」を提供すれば、お客様は買ってくれる。

(4)仕事は、チームですることが多い。仕事を通して、「仕事の仲間」をつくることができる。チームプレイを学ぶことができる。

*「チームプレイ」とは、自分のポジションは他の誰にも頼らず自分一人で守りきる、責任を果たすということ。「職責を果たす」ということ。

(5)お金には代えられない喜び。

3. 仕事の厳しさ

(1)仕事には、競争相手がいる。

お客様にとって「製品やサービス」は……

(ア)問題解決になっている。

(イ) 価格があまり負担でない。

(ウ) 便利なところで提供される。

(エ) 内容がよく伝えられている。(コミュニケーションがよい)

そうでないと、競争相手のものを比較し、購買されてしまう。買ってもらえないと、売上げが減り、様々な支払いが困難となる。企業は「倒産」、働く人は「失業することもある」。切磋琢磨(せつさたくま、志を同じくする者が互いの欠点や誤りを直し合って向上を図ること)なくして発展はない。よい競争は、発展を促す。

(2) 仕事のスキルが上がらないと、その仕事を失うこともある。

世の中の変化のスピードは速い。

情報や技術を活用する能力を絶えず高めることが求められる。(コンピュータは大事)

(3) 外国との交流も不可欠。

世界は、交通と通信が発達。冷戦が終わったため、一段と交流が盛んになった。

外国で仕事をする、外国の人と仕事をすることも増えた。これからもどんどん増える。

多様な集団で交流するのも能力。

* 「英語」は大事。(中学生のうちに、英語を確実に身に付けよう)

4. 「一生勉強、一生青春」

(1) 「健康第一」(心の健康、身体の健康) - 「早寝、早起き、朝ご飯」、「元気な挨拶」を -

(2) 「読書」量を増やすこと - 「書き抜き読書ノート」のすすめ・図書館を活用しよう -

(3) 「新聞を読んで考える」 - 1日に40分は新聞を読もう・英字新聞も読んでみよう -

(4) 自分のよさを探そう。よさを認め、どんどん伸ばそう。

「家族」の「よさ探し」

「友達」の「よさ探し」

「学校」の「よさ探し」

「府中」の「よさ探し」

「東京」の「よさ探し」

「日本」の「よさ探し」

「地球」の「よさ探し」

「躰(しつけ)」を身に付けよう
「美しい立居振舞い」(服装第一)
「敬語表現を含む言葉遣い(ことばづかい)」

(5) 「人生105年」 - 「一生勉強、一生青春」

35歳までは、ひたすら勉強。

70歳までは、仕事を通して世の中に役立つ。

70歳を超えたら、できるだけ自分の力で「いつまでも若々しく生きよう」。

以上
御清聴を感謝申し上げます